

協働提案実施事業最終評価表【令和５・６年度実施事業】

事業名	プロに学ぶ「吹奏楽ワークショップ」
事業内容	杉並の音楽文化が途切れることなく継承されて行くことを目指して、プロの指導の下、中学生を主たる対象に、一曲一曲を皆で作りに上げて行く「合奏体験」の場を提供する。
提案団体名	特定非営利活動法人すぎなみ子どもサポート
担当課	教育委員会事務局学校支援課

	評価項目	評価の視点	評価点	評価 点数
I	事業計画	① 事業は、2年間を通して課題・ニーズを把握のうえ、適切に計画・実施されたか。	A	4.89
II	協働への取り組み	② 対等な立場で、かつ互いの特性を生かしつつ、事業が進められたか。	A	4.67
		③ 事業の進捗等に応じて、必要な情報共有や議論等を行いながら対応できたか。	A	4.78
		④ 協働により実施した事業効果が得られたか。	A	4.56
III	事業の成果等	⑤ 事業を通じて、他の団体や組織等とのネットワークが広がったか。	B	4.11
		⑥ 想定していた事業の成果（目標）が認められたか。	A	4.89
		⑦ 事業の実施により受益者の満足度が向上したか。	A	4.78
IV	総合評価	⑧ 協働事業を実施する必要性や発展性が認められたか。	A	4.78
総合評価（評価員の平均）			A	4.68

【評価基準】

A	高く評価できる	5 ～4.45
B	評価できる	4.44～3.45
C	標準的である	3.44～2.45
D	どちらかといえば評価できない	2.44～1.45
E	評価できない	1.44～1

【総評】

提案書類審査結果および公開プレゼンテーションに基づき、杉並区NPO等活動推進協議会は、「A(高く評価できる)」と評価した。各項目の平均点数も非常に高得点であり、協働提案実施事業として、大変高く評価できるものである。

昨今の少子化等の影響により、中学校の生徒数は減少傾向にあり、部活動によっては、良好な環境での活動に困難を抱えている。本事業は、このような状況下で杉並区の中学生の部活動の中でも、特に多数の部員が必要とされる吹奏楽部の課題に目を向け、吹奏楽による専門的な指導及び演奏を望む生徒の希望を実施団体及び担当課による協働によって、実現できた点は大いに評価できるものである。

一方、協議会では、他の地域団体との連携、そして、本事業をモデルとして、他の団体による、他の部活動への展開といった更なる取組を望む点が指摘された。加えて、杉並区に対しては、本事業の取り組みによって顕在化された楽器管理、部活動の伝統継承といった持続可能な部活動に関わる課題をはじめ、「部活動の地域移行」の方向性といった今後の杉並区における「部活動」の根源に関わる課題解決の取組の必要性についても指摘された。